（様式⑦-1 高等学校）

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立　　堺　　高等学校
准校長　遠藤　修司

令和８年度　重点目標
〇様々な背景を有する生徒を励まし支えながら，一人ひとりの個性や特質に応じた教育的支援を行う。
〇卒業後のキャリア形成を意識し，生徒一人ひとりに個別最適化された学力保障と進路指導を行う。
〇よりよい生活や人間関係を形成しようとする生徒の自主自律的な態度を育成する。

確かな学びの現状
〇学習歴や生活背景などにおいて，きわめて多様な背景をもつ生徒の学びの場，学びなおしの場となっている。
〇不登校経験のある生徒や学習面に不安のある生徒なども在籍している。
〇学習に自ら進んで取り組んだり，自分で課題意識を持って学習に向かう生徒は多くはない。

豊かな心・健やかな体の現状
〇生徒は概して素直であるが，対人関係能力，生活習慣，進路意欲などの実態は多様である。
〇生涯にわたって学び続ける姿勢や対人関係などに自信を持ちにくい生徒も多く存在する。
〇学校行事に積極的に参加したり，相手のことを考えた行動ができるような成長が期待される。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組（●重点とする取組）	判断基準（評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認（～10月）		達成状況(年度末) 自己評価		達成状況(年度末) 学校関係者評価	
確かな学び	授業改善	社会生活と結びつき，自らの生活を支えるために必要となる基礎・基本的な学力の定着を図る	●学びなおしを重視した学習内容の焦点化を行い，生徒一人ひとりの習熟度に応じた学習支援を行う	定期テスト等での習得率 学びに向かう力	定期テスト等 自己評価	年度末	○	学びなおしにより基礎学力が向上し，学習意欲につながってきている。				
			授業で基礎学力等を向上させるための時間を設定し，実社会で必要となる事柄と関連させながら学習させ意欲の向上につなげる	定期テスト等での習得率 学びに向かう力	定期テスト等 自己評価	年度末	○					
		キャリア教育を推進させることで進路未決定者を減少させ，希望する進路先に対応できる学力を身につけさせる	様々な学習ニーズに応じた学校設定科目を実施し，それぞれの進路で生きて働く知識・技能を身に着けさせる	定期テスト等での習得率 学びに向かう力	定期テスト等 自己評価	年度末	◎	卒業後の進路について積極的に考え学ぶ機会を充実させることができている。				
			●HRや総合的な学習の時間を活用し，卒業後の進路について積極的に考え学ぶ機会を充実させる	生徒の生活実態アンケート 「卒業後の進路について」考えていない割合	生徒の生活実態アンケート	年度末	○					
豊かな心・健やかな体	基本的生活習慣の確立	一人ひとりが互いのよさを認め，協力・協調しながら共に高めあえる人間力を育成する	●学級活動やクラブ活動での集団づくりを通して，互いの違いを認め合い，支え合おうとする態度を育成する	生徒の生活実態アンケート 「学校生活について」肯定的評価	生徒の生活実態アンケート	年度末	○	学校行事を充実させ生徒が互いに協力しながら主体性が発揮できる機会を拡充する。				
			生徒が互いに協力しながら主体性が発揮できる機会を拡充するために，生徒会活動や学校行事等を充実させる	学校行事への参加率 進級・卒業率	統計調査	年度末	◎					
認知度の向上	信頼される学校	本校や夜間定時制課程の認知度を向上させるため，学校広報活動の見直しと増進を図る	●教員による中学校や不登校支援教室への訪問，学校見学会を実施し，本校での教育活動の現状と成果を中学生やその保護者に広く伝える	中学校等への訪問の実施回数 個別学校見学者数 入学志願者数の増加	統計調査 入試志願者数	年度末	◎	教員による中学校や支援教室への訪問、学校見学会を実施し、本校の教育活動を広く伝えてい				
			学校ホームページを活用し，教育活動の現状と成果の発信に努める	記事掲載数や内容の充実 入学志願者数の増加	統計調査 入試志願者数	年度末	○					

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)